

みずほCustomer Desk Report 2017/04/12号(As of 2017/04/11)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.80 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.70	1.0598	117.31	1.0081	1.2423	0.7506
SYD-NY High	110.92	1.0630	117.50	1.0094	1.2495	0.7515
SYD-NY Low	109.60	1.0578	116.23	1.0057	1.2404	0.7475
NY 5:00 PM	109.62	1.0605	116.23	1.0075	1.2493	0.7498
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.4/11.85		25RR	2.268	Yen Call Over	
NY DOW	20,651.30	▲ 6.72	債券市場	日本2年債	-0.2240	▲ 1.9bp
NASDAQ	5,866.77	▲ 14.15		日本10年債	0.0370	▲ 2.2bp
S&P	2,353.78	▲ 3.38		米国2年債	1.2338	▲ 4.0bp
日経平均	18,747.87	▲ 50.01		米国5年債	1.8303	▲ 6.9bp
TOPIX	1,495.10	▲ 4.55		米国10年債	2.2962	▲ 7.0bp
シカゴ日経先物	18,695	▲ 115.00		独10年債	0.2040	▲ 0.3bp
ロンドンFT	7,365.50	16.56		英10年債	1.0530	▲ 2.4bp
DAX	12,139.35	▲ 61.17		豪10年債	2.5300	▲ 4.3bp
ハンセン指数	24,088.46	▲ 173.72	為替市況	USD/CNH	6.9006	▲ 0.0049
上海総合	3,288.97	19.57		ドルインデックス	100.71	▲ 0.31
USDJPY 3M Vol	9.95	0.23%	商品市況	CRB指数	187.996	0.37
USDJPY 6M Vol	9.78	0.19%		NY金	1,274.20	20.30
EURJPY 3M Vol	13.08	0.70%		WTI	53.40	0.32
EURJPY 6M Vol	11.63	0.35%		Dubai Spot	54.29	0.38

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月11日	15:00	日 工作機械受注(前年比)・速報	3月 22.6%	-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	3月 0.4%/2.3%	0.3%/2.3%
	17:30	英 PPI産出・季調前(前月比/前年比)	2月 0.4%/3.6%	0.1%/3.4%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	4月 80.1/19.5	77.5/14.8
	18:00	欧 鉱工業生産・季調済(前月比/前年比)	2月 -0.3%/1.2%	0.1%/1.9%
	18:00	欧 ZEW調査(期待)	4月 26.3	-

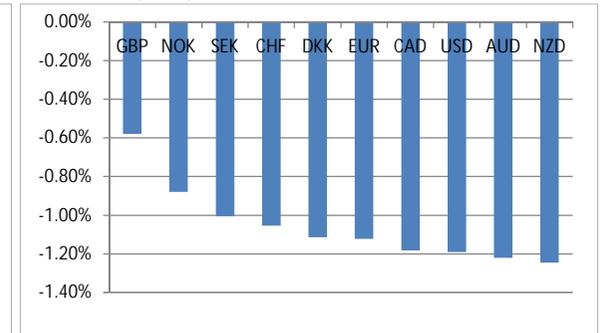
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月12日	08:50	日 機械受注(前月比/前年比)	2月 3.6%/2.5%	-3.2%/-8.2%
	10:30	中 CPI(前年比)	3月 1.0%	0.8%
	10:30	中 PPI(前年比)	3月 7.5%	7.8%
	17:30	英 失業率	3月 -	2.1%
	17:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	2月 4.7%	4.7%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-1.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	オレミア時間にドル円は高値110.92をつけたものの111円台を回復するには至らず、110円台後半で推移。前日海外時間に行われたイレノFRB議長の講演が事前に思われていたほどカ派的でなかったことや、依然として燃る朝鮮半島を巡る地政学リスク、フランス大統領選挙の不透明感などが意識され、上値は抑えられた。斯かる状況下、東京時間のドル円は110.70レベルでオープン。米金利に加え、安寄りした日経平均株価もじりじりと下落する中、ドル円は110.60-80近辺で探みあい推移。午後に入っても新規材料に欠ける中、相場の場合に大きな変化はなかった。結局ドル円は、東京時間安値110.59をつけた後、110.65レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は横ばい、110.65レベルでオープン。海外時間の流れを引き継ぎ、米国によるアジアや北朝鮮への対応をめぐる地政学的リスクへの警戒感や、イレノFRB議長の講演での発言がハ派寄りであったことを背景に軟調推移。ポジション調整から110.73まで上昇する局面があったものの上昇は一時的で110円台半ばで推移。結局110.59レベルにてNYへ渡った。ポンドドルは上昇した。1.2418レベルでオープン。英国立統計局が発表した英3月CPIが前年比+2.3%であったことが好感され、一時は1.2446まで急上昇するも、すぐに1.2412レベルまで値を戻した。特に目立った材料が無い中、リスク回避に円が買われドルが売られたドル円につられ、ポンドドルは値を上げ1.2431レベルにてNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は米国と北朝鮮、アジアをめぐる地政学的リスクの高まりから上値の重い推移となり、110.59でNYオープン。昨日に続き、本日もトランプ大統領が「もし中国が北朝鮮問題解決へ協力することを決断できなければ、我々は単独で問題を解決する」とツイッターでつぶやいたことから、米国-北朝鮮間の緊張感の高まりが一層意識され、安寄りした米株が拡大。リスクオフモードが高まる中、ドル円も110.06まで下落したが、110.00を目前に一旦は探み合い。その後、米10年債利回りが2.3%を割り込むと、ドル円も110.00付近のストップを巻き込みながら、昨年11月以来約5ヶ月ぶりとなる109.63まで下落。その後、サウジアラビアが今年後半までの減産延長を支持しているとの報道を受けてWTI原油価格が急反発するなか、米金利、米株も持ち直し、ドル円も109.90付近まで値を戻す。しかし、110円台を回復するには至らず。午後1時に行われた米10年債入札は弱めの結果となったが2.3%超えの水準では米10年債の買い意欲も強く、米金利が再び低下基調となるなか、ドル円は日中安値となる109.60まで下落し、109.62レベルで海外に渡った。一方ユーロドルは1.0617レベルにてNYオープン。朝方は米長期金利の下落を受けて1.0630まで上昇。しかしフランス大統領選挙を控えてユーロ買いが強まる展開とはならず、またドイツ西部のドルムントで爆発が事件が報道され、ユーロリスクも懸念される中、ユーロドルは1.0600まで値を戻し、1.0605レベルで海外に渡った。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.70-110.00	1.0550-1.0650	115.50-117.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は遂に110円を割れた。本日も、ドル円は上値重い推移を予想する。昨日急落後の戻しも限定的となっており、トランプラリー開始後の半値戻しの水準であった109.93円を下回って推移中。米金利も低下基調。斯かる中、日に日に高まる地政学リスクが強意識される状況は不変でありドル円の重石となる。ヘッドラインをきっかけに更に下をトライする可能性は否めず注意が必要だ。下値の目処としては200日移動平均の走る108.72円水準が意識される。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。